

倫理

第2問 問4

二つの資料から思想家の学問的立場を考察する問題で、各学力層で差がついた

問4 下線部⑥について、高校生Dは当時の儒学について、次のⅠとⅡの二つの資料を用意した。資料Ⅰは、中国のある思想家によって書かれたものであり、資料Ⅱはその学問の説を批判して自説を展開した日本の儒学者のものである。Dは、資料によって江戸時代に広く受け入れられた学問に対して、異をとねえる人も出てきたことを説明しようとしたのであるが、この資料Ⅱの著者の学問的立場をあ〜うから、資料Ⅱの著者の主張をX・Yからそれぞれ選ぶとき、組合せとして最も適当なものを、次ページの①〜⑥のうちから一つ選べ。 12

資料Ⅰ 中国の思想家の文章

著作権の都合により非掲載としています。  
(朱子の資料)

資料Ⅱ 日本の思想家の文章

著作権の都合により非掲載としています。  
(伊藤仁斎の資料)

学問的立場

あ 国学      い 古学      う 朱子学

主張

X 本来孔子や孟子が教えようとしたことは、感情や欲望を抑えることによって世界の成り立ちを知ることではなく、あふれるような愛によって人間社会を成り立たせようとする事だった。

Y 本来すべての人間には善悪を判断する力である良知が備わっており、大切なことは形式的に身を慎むことではなく、むしろその人間の善き心を時や場所に応じて実践していくことである。

- ① あ-X      ② あ-Y
- ③ い-X      ④ い-Y
- ⑤ う-X      ⑥ う-Y

第2問 問4	
<b>正解率</b>	<b>23.3%</b>
SS70~75	64.4%
SS65~70	46.2%
SS60~65	39.4%
SS55~60	28.3%
SS50~55	21.2%
SS45~50	16.5%

2021年度第3回ベネッセ・駿台 大学入学共通テスト模試 「倫理」	
受験者数:	11,440人
平均点:	50.1点
標準偏差:	14.7

## 倫理

## 第2問 問4

### 二つの資料から思想家の学問的立場を考察する問題で、各学力層で差がついた

#### 結果分析

第2問問4は、中国の思想家とその学説を批判した日本の思想家の資料から、日本の思想家の学問的立場と主張を選ぶ問題で、各学力層で差がつかまりました。

資料Ⅰの中国の思想家の資料から朱子の主張を読み取り、「その学問の説を批判して自説を展開した日本の儒学者」の資料である資料Ⅱが朱子学を批判した古学派の思想家（伊藤仁斎）の資料であることを読み取り、その主張と結びつけて考えることが求められています。

設問の意図を把握し、原典の読み取りと、それをもとに思想や学派の特徴とそれが生まれた背景や影響が理解できているかどうかで差がついたと考えられます。

#### 指導のご提案

教科書を一通り終了し、問題演習を通して知識の定着・確認や、新しい設問形式への対応を進められつつある時期だと思います。個々の思想家の断片的な知識は身に付いていても、その思想が生まれた背景や他の思想に及ぼした影響、類似する思想などについての理解は十分でないことも考えられます。これから共通テストまでの期間では、実践的な問題演習を重ねるとともに、思想が生まれた背景や他の思想への影響、さらに相互の関連性について整理し、思想の理解を深めるようご指導されることをお勧めします。

また、共通テストでは、本問のような原典資料をもとにした出題や、読解力を要する出題が予想されます。教科書や資料集で思想と結びつけて原典資料を改めて確認するとともに、短時間で長文を読み、その要旨を的確にとらえる演習を繰り返すことも大切です。